

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	隕石中の難揮発性包有物の形成速度論に基づく太陽系最初期の物理化学環境解析
研究代表者	塚本 尚義（北海道大学・大学院理学研究院・教授） ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、隕石中の難揮発性包有物を対象として、同位体岩石学・鉱物学的に、独自に開発した同位体顕微鏡等を用いた初期太陽系を模した室内実験と高分解能で行う解析研究を組み合わせた方法により、太陽系最初期の熔融、蒸発、拡散、凝集等の高温プロセスの物理化学環境の定量的制約を与えることを目的としている。開発的要素がうまく行かなかった時の対策等について不確定な部分もあるが、応募者及び研究分担者はいずれも本分野で高い研究能力と優れた研究業績を有しており、未解明の太陽系最初期の高温プロセス理解に期待が持てる。以上より基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>